

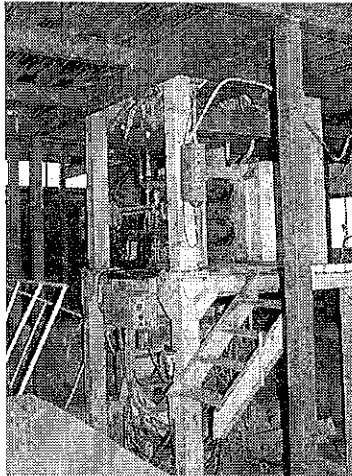
非鉄

(6)

# 銅の連続鑄造機

# 大和合金が導入

# 薄板の製造開始



銅合金鑄鍛メーカーの大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野茂雄氏)は年末までに、生産会社の三芳合金(埼玉県三芳町)に連続鑄造ラインを導入する。薄物の板の生産を新たに始め、新規顧客を開拓することが狙い。能力は月間数十トで投資金額は約1千万円。銅合金の板はこれまで、鍛造

で生産。連続鑄造ラインを導入することで20ミリの厚以下の薄物製品も高精度・短納期で製造できるよつになる。導入する設備はAS AB A製で、他メーカーから中古で購入した。溶解炉は自社のものを使用。容量約1トの保持炉と鑄造ラインを現在までに設置済みだ。工場では連続鑄造機の導入に伴い、基礎部分の改築や足場の設置などを実施。今後は冷却用水槽の敷設や設備の調整などを急ぎ、年末をめどに試験稼働を目指す。

同社はアルミ青銅やクロム銅、コルソン合金など素材の幅広さが強み。形状についても選択肢を広げること、客先のニーズに対応できる体制を整える。萩野源次郎常務は「薄い板という新たな形状を武器に、今後はさらに客先を拡大させていければ」と期待を寄せている。

# 非鉄金属